

アートによる長和町活性化事業

業務委託活動報告書

令和5年度

特定非営利活動法人ジャパンイニシアチブ

目 次

1. 本事業の目的	2
2. 本年度事業の目的	2
3. 今年度の事業概要	2
(1) 打ち合わせ事項	
(2) 長和町総合文化祭実施内容	
4. 広報活動	17
「広報ながわ」における活動報告及び学生の作品紹介	
5. 来年度の事業展開	27
(1) 女子美術大学との包括連携協定締結に向けて	
(4) ホームページの更新	

令和5年度「アートによる長和町活性化事業」事業報告書

1. 本事業の目的

本事業の目的は長和町がアートの力で地域の活性化を行うことです。女子美術大学生のデザイン力や発信力を活用し情報発信等により町の活性化を目指します。近年、大学の社会貢献が求められており、女子美術大学が教育機関として、地方自治体とともに地域の活性化を目指す事業を行うことは重要な意義があります。長和町の「アートによる長和町活性化事業」に取り組むことは、こうした社会貢献活動の一環の事業として女子美術大学内で位置づけられています。このような背景を踏まえ、包括連携協定を結ぶことで本事業の安定的実施を目指します。

2. 本年度事業の目的

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことをきっかけに、改めて包括連携協定締結に向けて長和町と女子美術大学の連携について協議していくことを目的としました。これまで女子美術大学は領域単位で取り組んでいましたが、よりアートやデザインの力を発揮して形にしていくために大学全体での連携を可能にできるように準備していくことになりました。

3. 今年度の事業概要

今年度は、日常生活が戻りつつあるという状況を踏まえ、改めて包括連携協定締結に向けて軌道修正を図ることを意識することに則し、これまでの活動を振り返り、一旦のまとめとして活動記録的な展示を長和町総合文化祭で発表することになりました。

昨年度から企ててきたプロジェクトに対し「地域発元気づくり支援金」の不採択という結果も踏まえ、全体の振り返りを通じて、包括連携協定締結に向けた具体策を考えていく会議を重ね、今後の進め方を協議しました。

（1）打ち合わせ事項

■4月10日（月）17:00～

今年度の事業内容について

補助金申請の採択による体制について

長和町と女子美術大学の包括連携協定について

■4月25日（火）17:00～

今年度初会合挨拶

今年度の事業内容について

長野県補助金の交付決定発表の時期について

長和町と女子美術大学の包括連携協定について

■6月1日（木）18:00～

今年度事業について

長野県の補助金の採択について

包括連携協定に向けた女子美術大学地域連携室との打ち合わせを設定

■7月28日（金）11:00～

女子美術大学地域連携室との打ち合わせ

包括連携協定締結の女子美術大学における要件等についてヒアリング

■8月9日（水）10:30～

女子美術大学地域連携室との打ち合わせ

女子美術大学における過去の包括連携協定の事例についてヒアリング

■8月29日（火）12:00～

今年度事業について検討結果を協議

■8月30日（水）11:00～

女子美術大学地域連携室との打ち合わせ

本事業に関する内容（過去の活動内容）についての説明

事業報告書やホームページなどの情報を共有

■8月31日（木）11:00～

今後の連携に向けた会議に必要な要件についての検討

■9月15日（金）17:00～

今年度の事業について（長和町訪問、展示用制作物など）

包括連携協定に向けた活動の確認

■10月11日（水）17:00～

展示物（タペストリー、学生の作品等）の制作について方向性などを協議

■10月16日（月）15:00～

女子美術大学地域連携室との打ち合わせ

本事業に関する過去の活動についての説明

連携協定締結した際のビジョンのプレゼンテーション

包括連携協定締結に向け今後の進め方やスケジュール等の協議

■10月18日（水）15:00～

展示物（タペストリー、学生の作品等）の制作のための資料、データの共有

■10月25日（水）17:00～

長和町総合文化祭参加に向けて活動内容等最終確認

学生の引率について

■3月6日（水）10:00～

本年度の経過確認と来年度に向けての情報共有

（2）長和町総合文化祭実施内容

■日程 11月3日（金）～4日（土）

■参加者 11月2日（木）（前日準備）～4日（土）

浅野教授、首藤准教授

NPO法人ジャパンイニシアチブ 青木 福井 早渕学

生 4名

■展示

これまでの長和町と女子美術大学のあゆみをまとめたタペストリーを作成し、展示しました。また、過去に制作した作品もダイジェスト的に選出し、合わせて展示しました。

<展示の様子>





＜タペストリー（女子美術大学と長和町のあゆみ） 作成：早渕 仁美＞

女子美

×

長和

女子美術大学と長和町のあゆみ

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学

アート・デザイン表現学科

メディア表現領域

Department of Cross-Disciplinary Art and Design

Field of Media Art and Design

「女子美」の名で知られる本校は、東京・杉並キャンパスと神奈川・相模原キャンパスに位置しています。「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・実践的創造の養成」を建学の精神として、美術教育を行う学校として創立しました。以後今までの100余年にわたる長い歴史を経て、知性と感性と技能を併せ持ち、美術の専門を行かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を行っています。

長和町は2016年度より「アートによる長和町活性化事業」(令和2年度までは「アートをテーマとした構想事業」として「人が集い」、「アートを発信」することで、長和町のブランド力と発信力を高めるための事業を行っています。

例えば長和町の「空き家」や「遊休空間」にアートレジデンスを置き、アトリエとしてアーティスト、学生などが集い、アートを発信します。または、Labとして企業とアーティスト、学生が一緒に、素材の開発や新たな製品の開発、発信を行います。

そしてエデュケーションLabとして子どもたちとクリエイター、学生との交流を通して、子供たちの想像力、感性を発掘し、発信します。また子供たちの感性を通して、新たなクリエイティブ、開発を行います。

上記の一環として現在、女子美術大学との包括連携協定締結に向けて活動しています。また、企業のサテライトオフィス誘致に向けた各種活動もあわせて行っています。

あゆみ

場所、人、歴史

2016 活動、WS、発表

(1) 両駅前にて初めての作品
平成28年2月20日から2月23日にかけて、女子美術大学の学生と教員が長和町を訪ね、長和町に点在する特色のある施設を見学しながら、様々な町の特色を学びました。そこから発想を用いて、長和町をテーマに企画・作品制作を行い、発表を行いました。

次回の活動は、2月24日(土)から2月25日(日)にかけて、長和町を訪ね、長和町の特徴的な施設を見学しながら、長和町の魅力を発見し、アート活動を行なう予定です。また、2月26日(月)には、アートレジデンスの発表を行なう予定です。

2022

制作、発表、実践

その他

コンペティション



その他の取り組み
新規開拓企画コンペに参加しました。学内のデザインコンペを実施させていただきました。デザインは現在実際には実施されており、学生の学びに繋がる機会となりました。



<首藤准教授によるプレゼンテーション>



■長和町の施設見学、宿泊

滞在期間中を利用し、コロナ禍等でこれまでに訪問出来なかった施設を見学、宿泊しました。

見学：長和町シェア型移住体験施設N A U、Yama café、長門牧場

宿泊：おやど和田宿、民宿みや

■女子美術大学 長和町総合文化祭アンケート

回答期間：令和5年11月3日（金・祝）～令和5年11月4日（土）

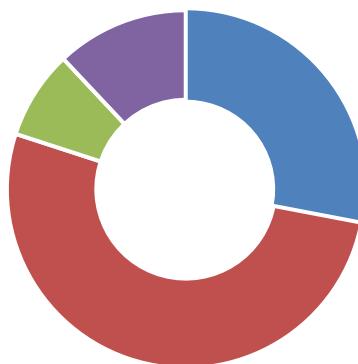
回答者数：25人

1. ご来場いただいた方について

（1）本日はどこからいらっしゃいましたか。

長和町	長久保	7
	古町	13
	大門	2
	和田	3

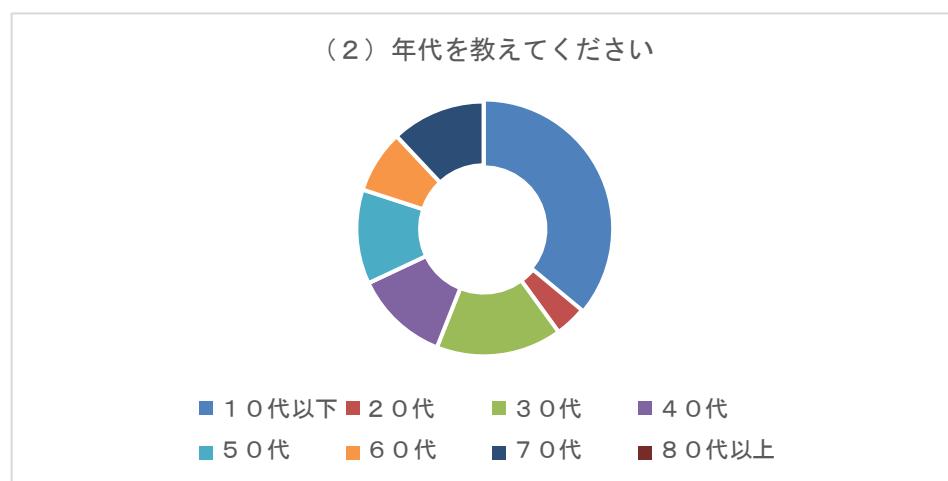
（1）本日はどこからいらっしゃいましたか



■長久保 ■古町 ■大門 ■和田

(2) 年代を教えてください。

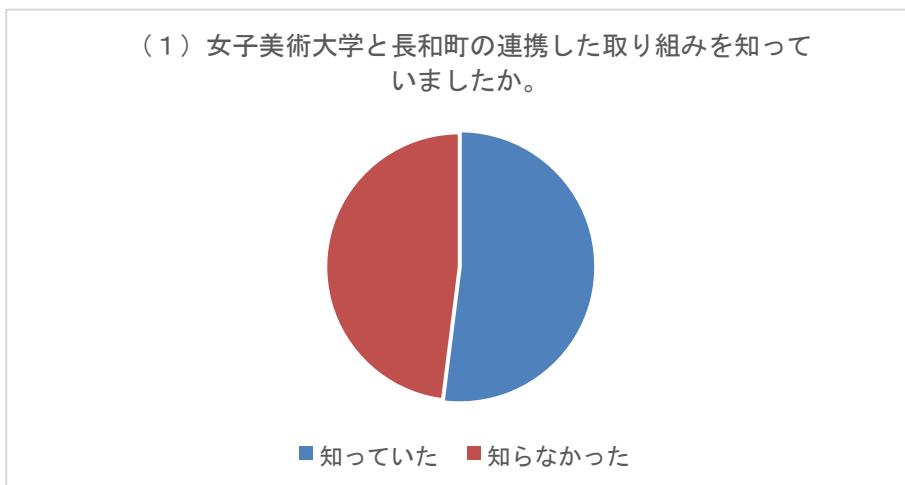
10代以下	9
20代	1
30代	4
40代	3
50代	3
60代	2
70代	3
80代以上	0



2. 女子美術大学について

- (1) 女子美術大学と長和町の連携した取り組みを知っていましたか。

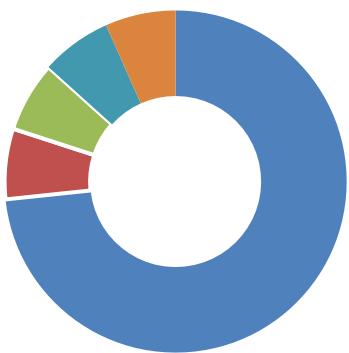
知っていた	13
知らなかった	12



- (2) 「知っていた」と回答した方にお聞きします。連携した取り組みについてどこで知りましたか。 (複数回答可)

広報ながわ	11
長和町公式 Twitter	1
長和町公式 Facebook	1
FM とうみ	0
女子美術大学との連携を紹介する専用ホームページ	1
※ その他	1

(2) 連携した取り組みについて
どこで知りましたか。



- 広報ながわ
- 長和町公式Twitter
- 長和町公式Facebook
- FMとうみ
- 女子美術大学との連携を紹介する専用ホームページ
- その他

※「その他」の内容

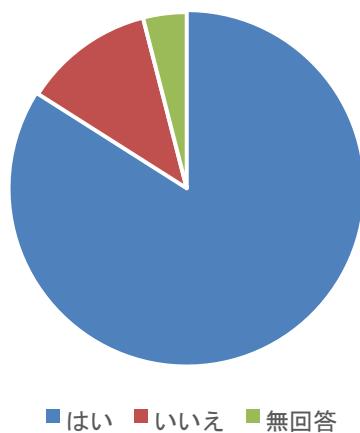
- ・娘の小学校でかわいいクリアファイルをいただいたので
- ・長和町総合文化祭
- ・家

3. 女子美術大学の企画展示について

(1) 企画展示をご覧になりましたか。

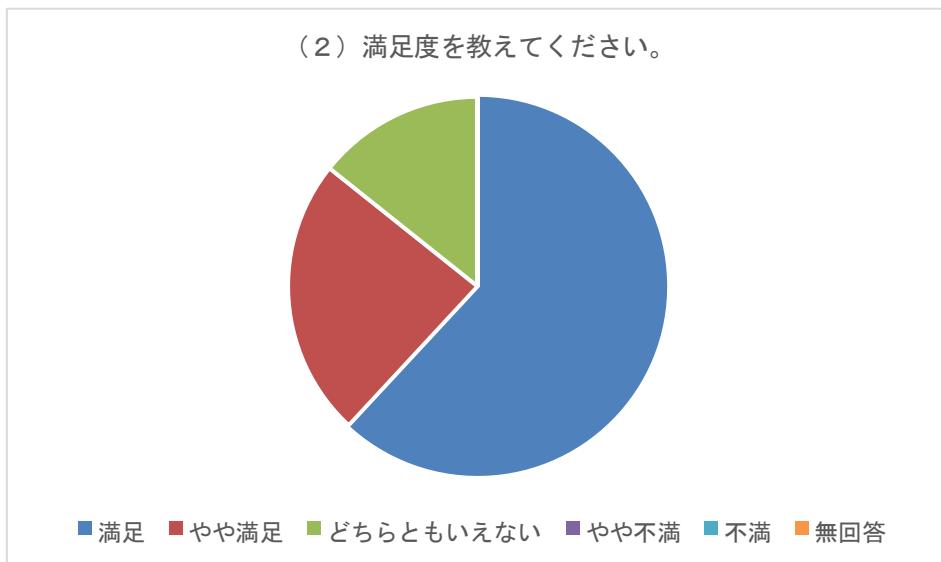
はい	21
いいえ	3
無回答	1

(1) 企画展示をご覧になりましたか。



(2) 「はい」と回答した方にお聞きします。満足度を教えてください。

満足	13
やや満足	5
どちらともいえない	3
やや不満	0
不満	0
無回答	0



3. 女子美術大学の企画展示について

(3) 今回の女子美術大学の企画展示の感想をお聞かせください。

きれいだった

お上手でした！

二次元のキャラクター化は若者向けに良いPR方法だと思った。

とてもスゴイです

かっこいい絵ですごく好きです。がんばってください。

和紙のかんざしがきれいで魅了されました。長和と連携していることは知っていましたが、多くのことを活動していることを始めて知りました。

きれいで満足した。

商品化されていれば、買いたいと思いました。

展示内容がおもしろいので楽しかったです。かんざしがかわいかったです。長久保のキャラも見てみたいです。

若い方々の感受性豊かな作品に触れてとても刺激を受けました。長和町を愛していただいてありがとうございます♡

今後ともよろしくお願いしますね(^▽^)♪

長和町のマニアックな魅力を外からの視点で形にしてください、これからも楽しみにしています。

長年の活動内容がわかつてよかったです。

長和町が誰からも親しみを持って来てもらえるよういろいろ考えてくださいありがとうございます。

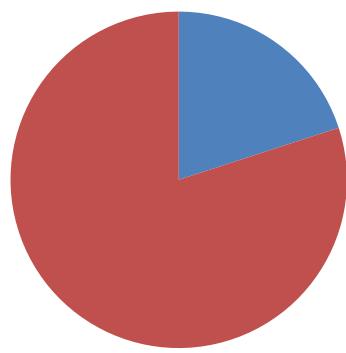
和紙との関わりについて発見しました。末永く伝承していってほしいです。

4. 女子美術大学のステージ発表（芸能発表）について ※11月4日（土）限定

（1）ステージ発表（芸能発表）をご覧になりましたか。

はい	2
いいえ	8

（1）ステージ発表（芸能発表）をご覧になりましたか。

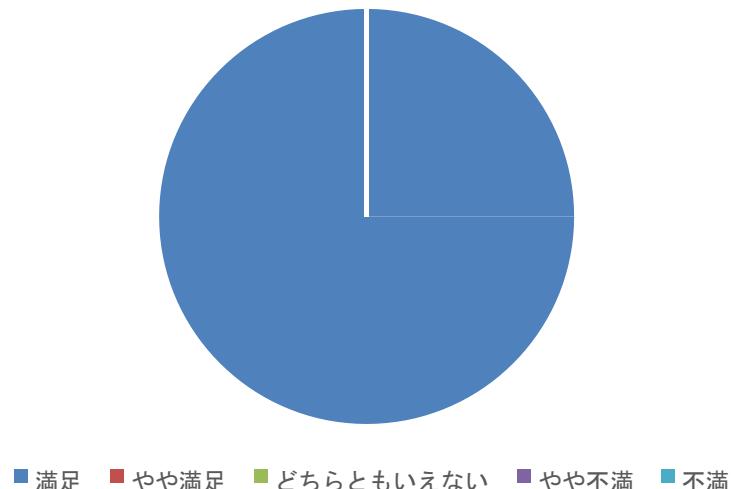


■はい ■いいえ

（2）「はい」と回答した方にお聞きします。満足度を教えてください。

満足	2
やや満足	0
どちらともいえない	0
やや不満	0
不満	0

(2) 「はい」と回答した方にお聞きします。
満足度を教えてください。



5. 今後の取組みについて

今後、女子美術大学と長和町は連携して情報発信などの事業に取り組む予定です。この中で取り組んでほしいことがあれば教えてください。

メディアへの発信も大々的にやってほしい。今のところその感覚がないので。
空き家のデザイン

4. 広報活動

「広報ながわ」における活動報告及び学生の作品紹介

【広報ながわ令和5年6月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.32



【女子美術大学と長和町の連携について】
女子美術大学と長和町は、アートによる長和町活性化の取り組みを、平成28年から実施しています。
令和4年度は、令和3年度に引き続き、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目し、**バス停（※）擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』**という企画が誕生しました。企画の作成にあたっては、本来であれば学生たちが長和町を訪れ、五感を使って体験したことなどを各々の感性で形にしていくことが理想ですが、新型コロナウイルスの影響でそれが叶わない中、町から提供された資料を最大限に活用し、形にしていきました。これまでの「学生一人につき一企画」から、『学生全員で一企画』方式となったことにより、実現に向けた具体的なイメージが可能となり、例年以上に実現性の高い企画となりました。
※擬人化…人でないものを人に擬して表現すること

【企画の紹介について】
広報ながわ「アートでまちづくり」のページでは、広報ながわ7月号から、令和4年度に作成されたバス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』について紹介していく予定です。
企画作成に携わった学生がどのような役割分担でどのような想いで創り上げたのか…広報を通じて、多くの皆さまに楽しんでいただければと思います。



【ホームページでの作品公開】
これまでの活動の中で制作された作品は、詳細な説明とともに事業の専用ホームページで公開しております。また、過去作品のテーマとなった民話も、関係者の皆さまのご協力のもと掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
○ホームページ URL <http://art-nagawa.jp/>

【広報ながわ令和5年7月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.33



【作品の紹介について】

「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト&コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかつて作成しました。

第1回（今月号）～第3回（9月号）では、広報班を紹介していきます！

田中 祥子（たなか しょうこ）さん
(アート・デザイン表現学科 メディア表現領域4年)



【担当】

- ・イラスト（やすらぎの湯）
- ・世界観考察
- ・企画書、プレゼン作成
- ・キャラ紹介ページ担当

【長和町の皆さまへ】

今回の企画は、自治体とのコラボということで全員で企画内容を丁寧に考えました。私は企画書や全体の発表原稿を書くにあたって、全体の意見をまとめるという仕事を担当しました。全員が目指したことや、この企画のメリットなどを分かりやすくまとめるよう工夫しました。


やすらぎの湯「湯佐カエデ」




【ホームページでの作品公開】

バス停擬人化プロジェクト「長和町恋路物語」の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページURL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和5年8月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.34



【作品の紹介について】
「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト＆コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかれ作成しました。

第1回（7月号）～第3回（9月号）では、広報班を紹介していきます！

【担当】・広報（主に展示係）

【長和町の皆さまへ】
大橋 夏詠（おおはし なつえ）さん（アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域4年）
グループ一丸となって一つの企画に取り組むことの充実感を今回の企画で初めて味わうことができました。企画を立ててから実現するためにはどうすれば良いのか、考えさせられる場面がたくさんあります。一人で作品を作る以上に様々な角度で物事を見ることができたと思います。各班が上手く連携を取り、全員で長和町を盛り上げたいという目標に向かって制作をした結果、かなり完成度の高い企画になったと思います。

佐野 美夏（さの みなづ）さん（アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域4年）
広報班展示係で、パネル制作に携わることができ、まるでデザイン会社に就職したかのような気持ちでプロジェクトに参加させていただいたので、とても良い経験になりました。グループワークだからこそ生まれる責任感を感じつつも、仲間と話し合い、励まし合いながらの取り組みはとても楽しく、制作の刺激になりました。長和町という魅力的な町を知れること、貴重な経験ができたこと、感謝の気持ちをお伝えしに、是非長和町に観光で伺いたいです。



【ホームページでの作品公開】
バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページURL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和5年9月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.35

QRコード

【作品の紹介について】

「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト&コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかれ作成しました。

第1回（7月号）～第3回（9月号）では、広報班を紹介していきます！

五郎部 光（ごろべ ひかり）さん
(アート・デザイン表現学科 メディア表現領域4年)

【担当】・広報（主にWeb制作）

【長和町の皆さんへ】

今回初めて広報という部署で企画を進めていましたが、終わってみて達成感をとても感じられる部署だと思いました。他の部署よりも人数が多くいたため宣伝方法や企画を考えるだけでなく、キャッチコピーやタイトル、ユニット名やユニットロゴ、世界観などを考えたことでよりこの企画への理解を深めることができました。また、何も知らなかった長和という町の人の温かさ、自然の豊かさ、食の素晴らしさを知れるきっかけとなれたのでこの企画に携われてよかったです。

木村 有咲（きむら ありさ）さん
(アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域4年)

【担当】・広報（主にSNS展開）

【長和町の皆さんへ】

長和町×バス停×アイドルというとてもワクワクするワードで楽しく制作させていただきました。私はSNSという、県内外問わず目に触れるきっかけとなる場所をより魅力的にするべく、取り組みました。



【ホームページでの作品公開】

バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページURL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和5年10月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.36

QRコード

【作品の紹介について】

「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト＆コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかれ作成しました。

第4回目の今回は、システム班をご紹介します！

【担当】・プロジェクトの企画、企画内での映像作成、コラボ商品の発案、ARの発案

大川 野絵さん
アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域4年



齊田 美優さん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



【長和町の皆さんへ】

大川さん：今回は、長和町とのプロジェクトに参加することができ、とても嬉しく思っています。

長和町は、自然豊かで食べ物も美味しいで調べていくうちにどんどん好きになり、行きたくなりました。私たちの感じた長和町の魅力や「長和町に行ってみたい！」という気持ちをこの企画を通して感じてもらい、外部・内部問わず様々な人がバス停に訪れて楽しんでいただければ幸いです。企画が実施されるかはまだわかりませんが、今後もよろしくお願いします。

齊田さん：今回このような大きな制作に携わることができ、地方の情勢や雰囲気を少しでも知ることができてとても勉強になりました。私たちは、町の人たちがこの企画を見てどう感じたかなど知ることは出来ませんが、少しでも喜んで貰えたらいいなと思います。もし実際に企画が始動することになった暁にはこのメンバーと一緒に長和町に訪れたいなと考えています。また、世の中の人たちに少しでも長和町について知ってもらい、この企画を楽しんでもらえれば本望です。



【ホームページでの作品公開】

バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページURL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和5年11月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.37



【作品の紹介について】
「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト&コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかれ作成しました。第5回目の今回は、デザイン班を紹介します！

【担当】デザイン

チャン・トゥハーバーさん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



宮岡 亜季乃さん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



【長和町の皆さまへ】
どうすればレトロな雰囲気と長和町の要素を融合してデザインできるかを悩み、アイデアが全く出て来ませんでした。資料を参考にしたり、自分が長和町に行く旅行者だとしたら何を楽しむかイメージしたりして発想していました。自分はデザインが得意ではないけど、他の人のアイデアを組み合わせたり、他人の立場から考えたりするのが好きなので今回の企画に参加できて楽しかったです。

【デザインの役割とは】
デザインの役割とは、主役を引き立て、より魅力的に見せるために、お手伝いをするものだと考えています。今回の企画では、長和町の様々な要素を組み込んでポスター・カード・クリアファイルなどを作成しました。

町の方々が用意してくださった写真、バス停を基にしたキャラクターたちの名前やプロフィール、そしてそのイラスト、どれも作り手の想いがたくさん込められているものです。作品を見てくださった方々に、制作に関わった人たちみんなの想いが少しでも届いていたら嬉しいです。

デザイン NO.2

ポスター「デザイン」
ポスターは町が持てる特徴ではキャラクター「デザイン」が誕生したため、2つバージョンを考えてあります。



デザイン NO.3

ロゴデザイン一覧
ユニットロゴ
夕霧
ながわ
くわなみ
Romancesque
Silver Birch
Luna



【ホームページでの作品公開】
バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページ URL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和5年12月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.38



【女子美術大学との連携について】
長和町では平成28年度より、女子美術大学の学生のデザイン力や発信力を活用して、アートの力を活かした情報発信や地域の活性化を目指す取組みを行っています。

【長和町総合文化祭での作品展示と芸能発表】
11月3日（金・祝）、4日（土）に開催された長和町総合文化祭において、平成28年度から令和4年度までの7年間に実施された取組みの中で誕生した作品の数々の展示を行いました。11月4日（土）の芸能発表会では、女子美術大学の首藤圭介准教授によるスピーチが行われました。

○作品展示
7年間の歩みを紹介したタペストリーや、各年度で誕生した作品、令和4年度に作成された企画「長和町恋路物語」に登場するキャラクターの等身大パネルなどを展示しました。



▲学者村総合管理センターバス停のキャラクター「学村閃一」と同じポーズでパシャリ!

▲過去の取組みで誕生した作品の数々

○芸能発表
首藤准教授は、連携が開始した平成28年度からこれまで、継続して携わってくださっている方です。今回の芸能発表会でのスピーチは、首藤准教授のお話を直接聞くことができるとても貴重な機会となりました。今や当たり前に私たちの身近にあるあのデザインは、実は女子美術大学の学生の作品だということを、改めて町民の皆さんにお伝えすることができました。連携した取組みで誕生したそれぞれの素敵な作品やデザインは、確かに地域に溶け込み根付き、私たちの生活に彩りを与えてくれています。



▲首藤圭介准教授によるスピーチ

総合文化祭に合わせて長和町を訪れた学生4名は、昨年度も同時期に長和町を訪れており、2回目の訪問でした。前回訪れたのが1年前とは思えないほどたくさんのことを見ており、一緒に行動させていただいた役場担当者もとても嬉しく思いました。3日間という短い期間でしたが、常にキラキラとした笑顔がとても印象的でした。

今回総合文化祭に展示したタペストリーを、11月下旬より引き続き役場本庁舎にて展示します。役場にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

【広報ながわ令和6年1月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.39



【作品の紹介について】

「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。

この企画は、女子美術大学の「プロジェクト＆コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかれ作成しました。今回第6回と次回7回目では、キャラ班をご紹介します！

【担当】キャラクターデザイン・イラスト

鈴木 楓さん
アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域4年



中野 日さん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



【長和町の皆さまへ】

バス停の造形自体に目を向ける事も、周辺情報をデザインに落とし込むことも初めてだったので、とても難しかったです。しかしバス停やその地域について調べ、思考し、ピタリとハマるデザインが生まれた瞬間は嬉しく、私にとっても貴重な経験となりました。

そして大好きな擬人化を通して、長和町の魅力を知ることができて楽しかったです。

今回の企画を通して、長和町の文化や自然に触れ、長和町のことが大好きになりました。私はキャラクターを制作するのを担当しましたが、長和町・バス停の分析を行い、分析して得た要素をキャラクターの衣装や設定に取り入れていくのはとても楽しかったです。

キャラクターデザイン



画像① 鈴木さん担当『円通寺まどか』（画像右）
中野さん担当『岩井信乃』（画像左）

画像② 中野さん担当『夜ノ池翠』（画像中央）

【ホームページでの作品公開】

バス停擬人化プロジェクト「長和町恋路物語」の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！

○ホームページURL <http://www.art-nagawa.jp>

【広報ながわ令和6年2月号掲載記事】

アートでまちづくり ～女子美術大学と連携した取り組み～

【お問い合わせ先】企画財政課 まちづくり政策係 ☎75-2064 Vol.40



【作品の紹介について】
「アートでまちづくり」のページでは、女子美術大学の学生が令和4年度の活動で、長和町の巡回バス「ながわごん」のバス停に着目して作成した企画「バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』」について紹介していきます。
この企画は、女子美術大学の「プロジェクト&コラボレーション演習」という授業で、毎年長和町を取り上げていただいているゼミに参加した学生13名が、4つの班（広報班・システム班・デザイン班・キャラ班）にわかつて作成しました。
第6回（1月号）と7回目（2月号）では、キャラ班をご紹介します！

【担当】 キャラクターデザイン・イラスト

鍋島 美都妃さん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



宮野 舞さん
アート・デザイン表現学科
メディア表現領域4年



【長和町の皆さんへ】
私は本企画のキャラクターデザイン・イラストを担当しました。長和町の個性溢れるバス停たちをキャラクターにどう落とし込むか、長和町の魅力をどうデザインとして取り入れるか、グループの人達と話し合い試行錯誤を繰り返しました。
長和町の行きたい場所は既にリストアップ済みなので！現地に行ける日が楽しみです！絶対行きます！

擬人化というジャンルでバス停の見た目や自然、地域のエピソードをもとにキャラクターの姿や設定を地域のためにキャラクターデザインするということが新鮮で、楽しみながらも深く考えながら制作することができました。キャラクターデザインを通して今回の制作で長和町についてたくさん知ることができ、いつか実際に訪れてみたいと思っています。

【キャラクターデザイン】

画像① 鍋島さん担当「芹沢圭」（画像右）



画像② 鍋島さん担当「立岩稻荷」（画像左から2番目）
宮野さん担当「学村閃一」（画像右）



【ホームページでの作品公開】
バス停擬人化プロジェクト『長和町恋路物語』の企画書は「アートによる長和町活性化事業」専用ホームページからご覧いただけます。また、平成28年度からこれまでの活動の中で制作された作品も詳細な説明とともに公開しておりますので、ぜひご覧ください！
○ホームページ URL <http://www.art-nagawa.jp>

5. 来年度の事業展開

（1）女子美術大学との包括連携協定締結に向けて

女子美術大学の地域連携室の方々のご協力のもと、包括連携協定締結に向けて具体的なやり取りを行なっていきます。これまでメディア表現領域と長和町が行なってきた活動を出発点として、より可能性を広げていくための訪問やリサーチ、具体的なアイデアなどを積極的に想像し、有意義な連携に向けて協議を行います。

（2）ホームページの更新

ホームページは逐次、迅速に情報を更新していきます。長和町と女子美術大学との活動のアーカイブとしての役割もあるため、今後に繋がる情報として記録していきます。